様式第６号（要領第６関係）

富山県住みよい家づくり資金融資　リフォーム基準確認書

（バリアフリーリフォーム）

【「申込住宅」欄に記入してください。】

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 区分 | 融資対象住宅要件 | | 申込住宅 |
| バリアフリ｜リフォ｜ム | (1)から(6)までの各号のうち二つ以上の号に該当するものであること。 | | 該当する箇所を○で囲み、または数値を記入してください。 |
| (1)段差の解消 | 次に掲げる住宅の部分の床及びこれらをつなぐ出入口の段差の解消  ア　高齢者等の寝室のある階の全居室（食事室が他の階にある場合は含む。）  イ　便所  ウ　洗面所  エ　脱衣室  オ　玄関ホール  カ　アからオの住宅の部分をつなぐ廊下 | 段差の解消  適　　・　　不適 |
| (2)通行幅の確保 | 次に掲げる住宅の部分の通行幅の確保  ア　次に掲げる住宅の部分をつなぐ廊下の幅は78cm以上（柱の出ている部分は75cm以上）  (ｱ)　高齢者等の寝室のある階の全居室（食事室が他の階にある場合は含む。）  (ｲ)　便所  (ｳ)　洗面所  (ｴ)　脱衣室  (ｵ)　玄関ホール  イ　高齢者等の寝室のある階の全居室（食事室が他の階にある場合は含む。）の出入口の幅は75cm以上  ウ　浴室の出入口の幅は60cm以上 | ア　廊下の最低幅　　　（　　　　）cm  （柱の出ている部分の最低幅  （　　　　）cm）  イ　高齢者等の寝室のある階の全居室の出入口の最低幅　（　　　　）cm  ウ　浴室の出入口の幅（　　　　）cm |
| (3)浴室の広さの確保 | ・浴室の短辺方向の内のり長さは1.3 m以上  ・浴室の有効面積2.0 ㎡以上 | 浴室の短辺方向の内のり長さ  （　　　　）m  浴室の有効面積　　　　（　　　　）㎡ |
| (4)昇降しやすい階段形状 | 階段の各部の寸法は各式を満たす  けあげの寸法 　 22  ア　―――――――≦――  踏面の寸法　　 21  イ　踏面の寸法≧19.5cm  ウ　55cm≦踏面の寸法＋２×けあげの寸法≦65cm | 踏面の寸法　　　　　　（　　　　）cm  けあげの寸法　　　　　（　　　　）cm  左記の式を満たす  適　　・　　不適 |
| (5)手すりの設置 | 浴室には最低１箇所以上、階段には最低片側 | 浴室及び階段の手すり  有　　・　　無 |
| (6)部屋の配置 | 高齢者等の寝室と便所を同一階に配置 | 同一階に配置  されている　・　されていない |

　以上のとおり相違ありません。

（申請者）住所

氏名

　以上のとおり相違のないことを証明します。

|  |  |
| --- | --- |
| 建築士　又は  工事施工業者 | （氏名） |
| （住所）  (電話番号　　　　　－　　　　　－　　　　　) |
| 級建築士登録（　　　　　）第　　　　　号（※建築士の場合） |
| （証明年月日）　　　　　　　　　年　　　　　月　　　　　日 |

様式第６号（要領第６関係）

富山県住みよい家づくり資金融資　リフォーム基準確認書

（耐震リフォーム）

【「申込住宅」欄に記入してください。】

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 区分 | 融資対象住宅要件 | | 申込住宅 |
| 耐  震  リ  フ  ォ  ｜ム | 住宅、診断者に関する事項を記入の上、対象となる耐震改良に該当するものであること。 | | 該当する箇所を○で囲み、記入してください。 |
| 住宅 | 所在地 |  |
| 建築年月 | ・明治　　・大正　　・昭和  年　　　月 |
| 建て方 | ・一戸建て |
| 階数 | ・１階建て　　・２階建て |
| 工法 | ・在来軸組工法 |
| 診断者 | 氏名 |  |
| 資格 | ・一級建築士　　・二級建築士　・木造建築士 |
| 登録番号 | № |
| 改良工事前の耐震診断 | 方法 | ・一般診断法　　・精密診断法　　・その他 |
| 診断結果 | ・総合判定1.0未満　　・その他 |
| 改良工事後の耐震診断方法 | | ・一般診断法　　・精密診断法　　・その他 |
| 工事予定期間 | | 年　　月　～　　年　　月 |
| 添付書類（全て必要） | | ・建物の過半が昭和56年５月31日以前に着工したことが確認できる書面の写し  ・耐震改良工事前の一般診断法による診断表等（融資対象耐震改良であることが確認できる書類）  ・耐震改良工事費見積書 |

　以上のとおり相違ありません。

（申請者）住所

氏名

　以上のとおり相違のないことを証明します。

|  |  |
| --- | --- |
| 建築士　又は  工事施工業者 | （氏名） |
| （住所）  (電話番号　　　　　－　　　　　－　　　　　) |
| 級建築士登録（　　　　　）第　　　　　号（※建築士の場合） |
| （証明年月日）　　　　　　　　　年　　　　　月　　　　　日 |

様式第６号（要領第６関係）

富山県住みよい家づくり資金融資　リフォーム基準確認書

（省エネリフォーム：断熱改修）

【「申込住宅」欄に記入してください。】

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 区分 | 融資対象住宅要件 | | 申込住宅 |
| 省エネリフォ｜ム | 以下の要件のうち、いずれかに該当すること。 | | 該当する箇所を○で囲んでください。 |
| 開口部の断熱改修 | ・ガラス交換(既存窓を利用して、複層ガラス等に交換するもの)  ・内窓設置（既存窓の内側に新たに窓を新設するもの、既存の内窓を取り除き、新たな内窓に交換するもの）  ・外窓交換（既存窓を取り除き新たな内窓に交換するもの、及び新たに窓を設置するもの）  ・ドア交換（既存のドアを取り除き新たなドアに交換するもの、及び新たにドアを設置するもの）  対象となる窓・ドア等の仕様例は、国の「こどもみらい住宅支援事業」の別紙1—1、別紙1—2とする。 | 断熱改修箇所  ・開口部（ガラス・窓・ドア）  ・外壁  ・屋根  ・天井  ・床  左記条件への適合  適　　・　　不適 |
| 外壁・屋根・天井・床の断熱改修 | 対象となる断熱材の性能及び使用量は、国の「こどもみらい住宅支援事業」の別紙2、別紙3とする。 |  |

　以上のとおり相違ありません。

（申請者）住所

氏名

　以上のとおり相違のないことを証明します。

|  |  |
| --- | --- |
| 建築士　又は  工事施工業者 | （氏名） |
| （住所）  (電話番号　　　　　－　　　　　－　　　　　) |
| 級建築士登録（　　　　　）第　　　　　号（※建築士の場合） |
| （証明年月日）　　　　　　　　　年　　　　　月　　　　　日 |

様式第６号（要領第６関係）

富山県住みよい家づくり資金融資　リフォーム基準確認書

（省エネリフォーム：高効率給湯器）

【「申込住宅」欄に記入してください。】

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 区分 | 融資対象住宅要件 | | 申込住宅 |
| 省エネリフォ｜ム | 以下の要件のうち、いずれかに該当すること。 | | 該当する箇所を○で囲み、（　）内を記入してください。 |
| 高効率給湯器の導入 | ・電気ヒートポンプ給湯機（エコキュート）  JIS C9220に基づく年間給湯保温効率、又は年間給湯効率が3.0 以上（ただし寒冷地仕様は 2.7 以上）であること。  ・潜熱回収型ガス給湯機（エコジョーズ）  給湯部熱効率が94%以上であること。  ・潜熱回収型石油給湯機（エコフィール）  給湯部熱効率が94%以上であること。  ・ヒートポンプ・ガス瞬間式併用型給湯機（ハイブリッド給湯機）  熱源設備は電気式ヒートポンプとガス補助熱源機を併用するシステムで貯湯タンクを持ち、年間給湯効率（JGKASA705）が102%以上であること。 | 導入設備  ・エコキュート  ・エコジョーズ  ・エコフィール  ・ハイブリッド給湯機  導入する商品名  メーカー  （　　　　　　　　　　）  機種名  （　　　　　　　　　　） |

　以上のとおり相違ありません。

（申請者）住所

氏名

　以上のとおり相違のないことを証明します。

|  |  |
| --- | --- |
| 建築士　又は  工事施工業者 | （氏名） |
| （住所）  (電話番号　　　　　－　　　　　－　　　　　) |
| 級建築士登録（　　　　　）第　　　　　号（※建築士の場合） |
| （証明年月日）　　　　　　　　　年　　　　　月　　　　　日 |